

# 目的追求から生まれた「利益」に直結する統合 ISO マネジメントシステム ～「ISO マニュアルは教科書だ」と再定義した～

## 経営者の想い (2011～)

- ・ 社員の働きやすい環境をつくる(まず、正社員化)
- ・ 大手企業との対等取引安心と信頼を提供する
- ・ 社員と協働作業 (改善)で経営計画の達成

## 事業内容

- ① 精密スタンピング加工
- ② 精密プレス金型製作
- ③ 専用設備開発設計

## (有)中澤製作所(長野県千曲市)



ブレイクスルー研究会上田

シスラボ・スエヒロ 中小企業診断士 末広繁和

# ISO 統合システムのフレームワーク

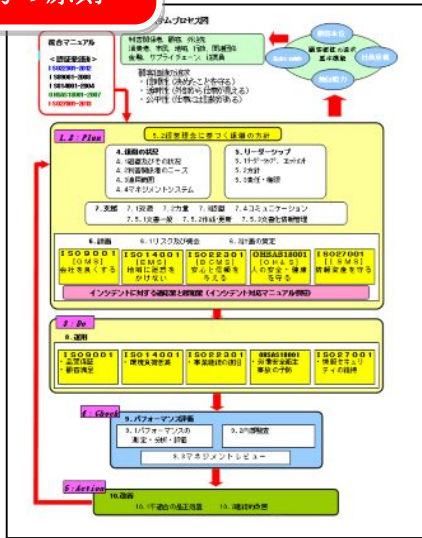
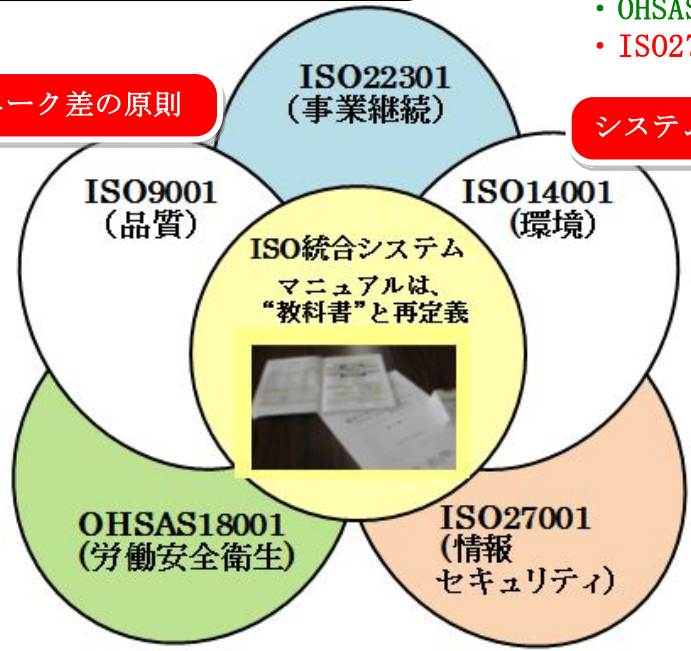
目的追求の原則

★ISO の目的は何か  
★ISO は日常業務だ

- ISO の目的の再定義
- ISO9001 : 会社をよくする
  - ISO14001 : 地域に迷惑かけない
  - ISO22301 : 利害関係者に安心と信頼を与える
  - OHSAS18001 : 人の安全・健康を守る
  - ISO27001 : 情報資産を守る

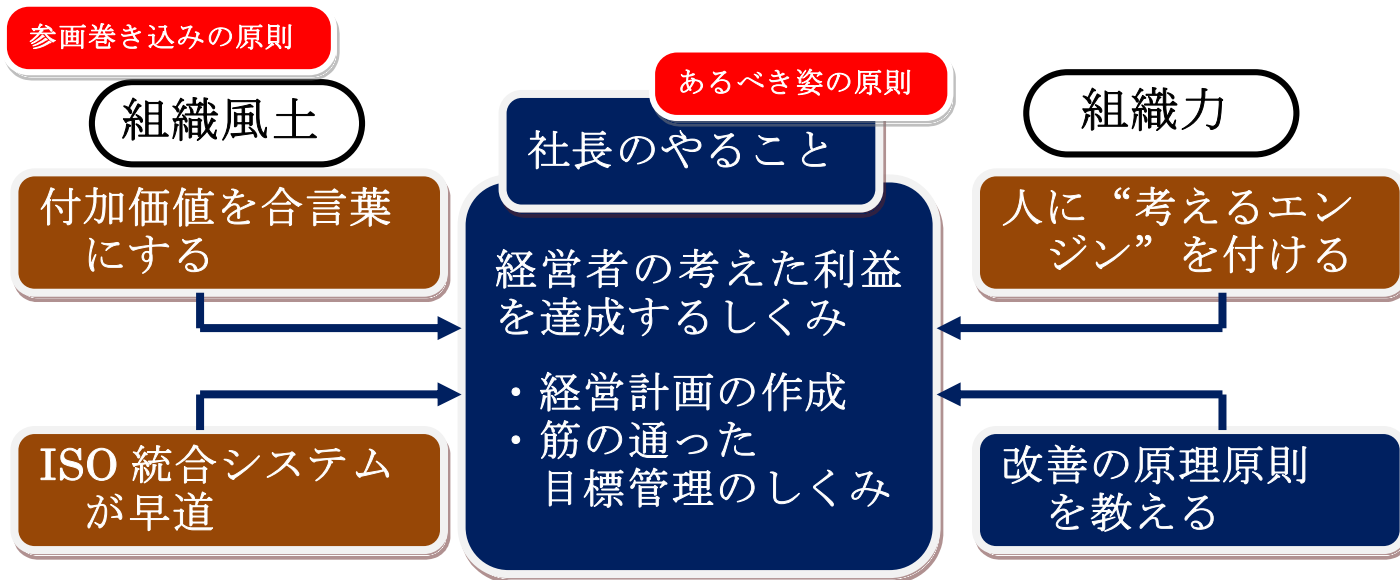
ユニーク差の原則

システム思考の原則



## ISO だけでは会社はよくなるらない

- ★組織力と組織風土づくり
- ★その結果、人と設備の稼働率の大幅向上



# マネジメント教える教科書と教え方

- ★知識を認識に変える短時間対話法
- ★スタートは、自分は組織にとって何なのか

教科書(2冊にすべての手順がある)



説明・解説図例



知識を認識へ

対話のプロセス



有効性監査



継続的改善の原則

内部監査の合言葉：一人当たり付加価値を改善で確保しよう  
多頻度、多回数、短時間、ピンポイント

目的「適」情報の原則



【C：チェックする】

監査結果を振り返る

- ・人のアラ探しになっていないか？
- ・証拠で話し合えたか？
- ・仕事がやり易くなりそうか？
- ・付加価値/人が増えそうか？
- ・活き活き仕事をしていたか？

【A：処置をする】

- ⑧原因追求と教育
- ⑨証拠で結果を確認

PDCAを回す

【D：15分監査にこだわる】

- ④ “この決め方でよいか” 証拠で監査
- ⑥ 指摘事項は1～2項目
- ⑦ 判定
- ⑧ 是正処置指示

【P：管理責任者が計画する】  
いつでも何処かで内部監査をやっている

- ① 監査項目を決める
- ② チェック項目決める
- ③ 監査実施日の確認